

## 古事記本文

あめつち けじめ とき たかあまはら な かみ みな あめのみなかぬしのかみ  
天地の初発の時、高天原に成りませる神の名は、天之御中主神。

つぎ たかなむ すびのかみ つぎ かむむ すびのかみ みはしら かみ みなひとりがみ な みみ  
次に高御産巢日神、次に神産巢日神。この三柱の神は、並独神成りまして身

かく つぎ くにわか うきあぶら ごと くらげ ただよ とき あしかび  
を隠したまいき。次に国稚く、浮脂の如くして久羅下なす漂える時に、葦牙の

こと も あが よ な かみ みな うましあしかびひこじのかみ つぎ  
如萌え騰るものに困りて成りませる神の名は宇麻志阿斯訶備比古遲神、次に

あめのとこたちのかみ こ ふたはしら かみ みなひとりがみ な みみ かく  
天之常立神。此の二柱の神も並独神成りまして身を隠したまいき。

かみ くだり いづはしら かみ ことあまつかみ  
上の件、五柱の神は別天神。

つぎ な かみ みな くにのとこたちのかみ つぎ とよくもぬのかみ こ ふたはしら かみ  
次に成りませる神の名は、国之常立神。次に豊雲野神。此の二柱の神も

ひとりがみ な みみ かく  
独神成りまして身を隠したまいき。

つぎ な かみ みな うひじにのかみ つぎ いもすひじにのかみ つぎ つぬぐいのかみ  
次に成りませる神の名は、宇比地邇神、次に妹須比智邇神、次に角杵神、

つぎ いもいくぐいのかみ おおとのじのかみ つぎ いもおおとのべのかみ つぎ おもだるのかみ つぎ  
次に妹活杵神、次に意富斗能地神、次に妹大斗乃弁神、次に於母陀硫神、次に

いもあやかしこねのかみ つぎ いざなぎのかみ つぎ いもいざなみのかみ  
妹阿夜訶志古泥神、次に伊邪那岐神、次に妹伊邪那美神。

かみ くだり くにのとこたちのかみ いざなみのかみ かみよななよ  
上の件、国之常立神より、伊邪那美神まで、あわせて神代七代ともうす。

ここに天つ神、諸の命もちて、伊邪那岐命・伊邪那美命二柱の神に、「こ

のただよえる国を修め理り固め成せ」と詔りて、天の沼矛を賜いて言依さした

まいき。かれ、二柱の神、天の浮橋に立たして、その沼矛を指し下ろして画き

たまえば、塩こをろこをろに画き鳴して引き上げたまう時、その矛の先より

したた お しお かさ つ しま な おのころしま  
垂り落つる塩、累なり積もりて島と成りき。これ淤能碁呂島なり。